





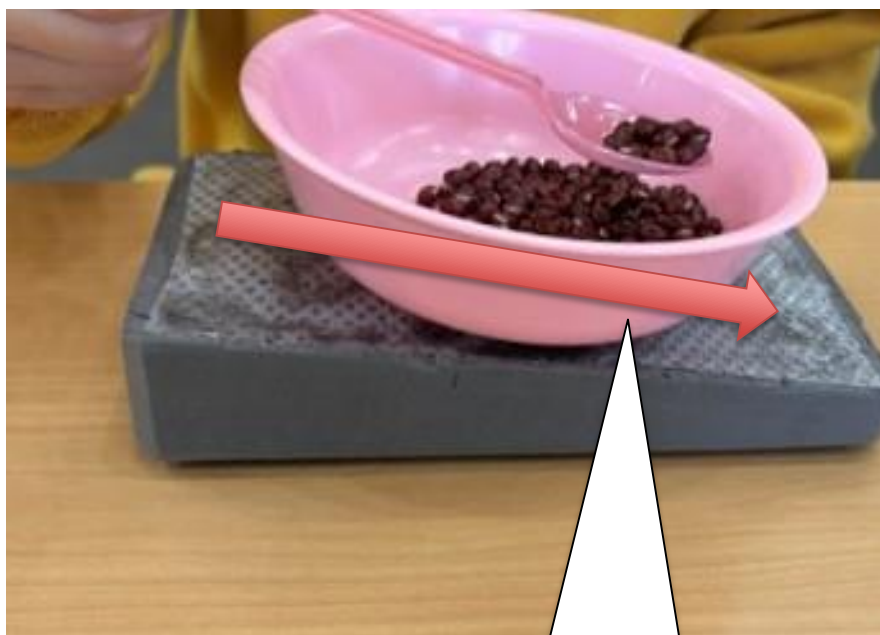
【応募作品の概要・要旨など】 \*A4 用紙 1 枚にフォントサイズ 10.5pt にて記載してください。

<p>作品の名称</p>	<p>※20 文字以内で記入 お皿スロープ</p>
<p>対象者の領域</p>	<p>※該当する項目( )に○を入れる。 身体障害 (○)、精神障害 ( )、発達障害 (○)、高齢者 (○)、 その他 ( )</p>
<p>自助具の分類</p>	<p>※該当する項目( )に○を入れる。 食事動作 (○)、整容動作 ( )、更衣動作 ( )、排泄動作 ( )、入浴動作 ( )、 コミュニケーション ( )、趣味・余暇活動 ( ) その他 ( )</p>
<p>用具の種類</p>	<p>※該当する項目( )に○を入れる。 工夫・改良品 ( )、個別製作品 (○) ※ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">工夫・改良品</span>市販品を工夫・改良し活用しやすくした物、<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">個別製作品</span>アイデアから個別に製作したオリジナルな物、とする</p>
<p>応募作品の概要</p>	<p>※作品の目的や効果、特徴、新規性・独創性（オリジナリティー）などを簡潔に記載する。</p> <p>目的：片麻痺などにによって両手動作が困難である症例を想定した。食事の際に食器を把持できない方にとっての食事時のスプーンですくう動作を補助する。</p> <p>特徴：様々なお皿に使うことが出来る。 安価で作成することが出来る。 食事のたびに洗う必要がなく、軽量であるため、持ち運びやすい。 スプーンを持つ手は左右どちらでも良く、対象者の使いやすい向きで使える。 内容物が少なくなると低い方に溜まるため、集めてすくう動作が容易になる。</p> <p>効果：対象者の好きなお皿で食事ができるため、食事の楽しみが増えることが期待される。 (特に食器にこだわりたい方、子どもなど) 外食時でもお皿を変えずに簡単に使用できるため、自宅外でもストレスなく食事がとれることが期待される。 介護用スプーンなどの他の自助具との併用によって、より効果的である。</p>
<p>工夫したポイント</p>	<p>お皿が滑り落ちないように傾斜を緩くした。 持ち運びやすさと安定性を考慮し、材料を選定した。</p>
<p>利用上の留意点</p>	<p>※使用上の注意点、耐久性、衛生面といった留意点を記載する。 お皿を傾かせるため、平皿は不向きであることと、汁物には適さず、固形物が望ましい。 料理が多く盛られていると、こぼれる可能性があるため、皿に乗せる量の調整は必要である。</p>

【応募作品の紹介】 \*A4 用紙 2 枚以内にフォントサイズ 10.5pt にて記載してください。

作 製 の 準 備	<p>※使用材質、道具、工具、材料費、などを記載する。</p> <p>材料：スポンジブロック(EVA 樹脂) 1個 110 円 食器棚シート(凹凸のあるもの) 1枚 110 円 接着剤 少量 110 円 ⇒ 材料費 計 330 円</p> <p>道具：カッター、はさみ、定規</p>
応 募 作 品 の 特 徴	<p>※作品の外観、作り方・製作過程、活用場面について写真と説明文を用いて記載する。</p> <p>※画像は最大 10 枚とし、自助具の特徴や使用状況が分かるような写真を使用する。</p> <p>1. 作品の外観</p>  <p>2. 作り方・製作過程</p> <p>①スポンジブロックをカッターで切る。</p>  <p>②スポンジブロックの斜面と底面の大きさに合わせて食器棚シートをはさみで切り、凹凸面に接着剤をつけて、平らな面が表になるように貼る。</p> <p>[斜面]</p>  <p>[底面]</p>  <p>完成</p>

### 3. 活用場面



お皿スロープにより皿に傾斜が生じることで  
皿の中の物が下方に移動する

応募作品の特徴

日常的な自宅での食事場面では様々な食器に対応することができるため、両手動作が困難である症例に対して使用を促すことが望ましいと考える。また、お皿スロープに直接食べ物を乗せるわけではなく、万が一、お皿スロープに食べ物が付着した場合には簡単にふき取ることができるため、衛生面にも配慮されており、介助者への負担についても考慮されている自助具である。

さらに、手軽に持ち運ぶことのできるという点から、自宅での食事場面以外にも外出先などを含めた外出先での使用も可能であることも特徴的である。本作品を使用することで、自宅や外出先など様々な場面において、自力での食事摂取を実現するということから使用者にとっての自己効力感を高めることができると考える。

<写真の使用に関して> ※該当する項目( )に○を入れる。

用いている写真に個人情報が含まれる場合：

⇒対象者に同意を得ている (    ), 対象者に同意を得ていない (    ), 該当せず (○)

※ご記入いただいた個人情報は、本コンテストの目的以外には一切使用致しません。